

# 無線を使ったインターネット接続

## Wireless Internet access service

### インターネットのひろがりとともに無線によるインターネット接続も急速に普及

無線を使ったインターネット接続は、1990年代にはPHS(Personal Handyphone System)によるデータ通信方式が利用されました。当時、PHSの回線速度は最大64Kbpsで、パソコンに接続して使用するカードタイプのものなどが発売されました。また、衛星を使ったインターネットサービスも1990年代末から提供が始まり、2000年には衛星パケット通信サービスが始まりました。

2000年代に入り、W-CDMA方式のサービス開始とともに、携帯電話の高速な無線によるインターネット接続が普及してきました。それと並行して、IEEE802.11方式(無線LANの標準規格)による屋外での無線インターネット接続である公衆無線LANサービスが開始されました。11b方式(最大11Mbps)、11a/g方式(最大54Mbps)で、駅やレストラン・カフェ、新幹線などでインターネット接続ができるようになりました。

2010年代に入り、LTE方式のサービスが登場し、さらに高速なインターネット接続が提供されました。



PHSデータ通信カード  
P-in Comp@ct



衛星パケット通信サービス対応端末  
DoPa N21

W-CDMA : Wideband Code Division Multiple Access  
LAN : Local Area Network  
LTE : Long Term Evolution